

読書篇

映画文学人生論

0661) 読む人間―読書講義 大江健三郎 (2007)
0671) 二十世紀の十大小説 篠田一士 (1985-88)
0681) 世界文学を読みほどく 池澤夏樹 (2005)
0691) 多読術 松岡清剛 (2009)
0701) <銀の匙>の国語授業 橋本武 (2012-)
参考：世界の十大小説 サマセット・モーム (1954)

ある作家がどのような人物であったかを
知っていたほうが作品を理解し、味わえる

若いころ、サマセット・モーム『世界の十大小説』と巡りあい、十大小説をぜんぶ読んだことがある。大筋はほぼ理解できたような気がするが。『白鯨』の鯨学、『戦争と平和』のエピローグ第二部、『カラマーゾフの兄弟』の大審問官の章など理解に苦しむ箇所も少なからずあった。

フィールディング トム・ジョーンズ
オースティン 高慢と偏見
スタンダール 赤と黒
バルザック ゴリオ爺さん
ディッケンズ デイヴィッド・コッパフィールド
フロベール ボヴァリー夫人
メルヴィル 白鯨
エミリー・ブロンテ 嵐が丘
ドストエフスキー カラマーゾフの兄弟
トルストイ 戦争と平和

「ある作家が果たしてどのような人物であったかを知っていたほうが、その作家の作品をいっそうよく理解し味わうことができる」と、モームはいう。その点については、なるほどと、私も思つて、イギリス人四人、フランス人三人、ロシア人二人、アメリカ人一人、あわせて十人の作家を成るべく知るよう心がけた。



読書篇

映画文学人生論

モームが推薦するこの十大小説が世界文学の最高峰だとすれば、私の読書人生はまあ順調であったともいえよう。困ったことに、世界文学にはその他に難解な最高峰が聳えている。特に私を苦しめ、読解力の無さを嘆かせたのは、

ダンテ

神曲

プルースト

失われた時をもとめて

ジョイス

ユリシーズ

である。『神曲』は大江健三郎、『失われた時をもとめて』は篠田一士、『ユリシーズ』は篠田一士と池澤夏樹が世界文学の最高峰の一つとみなしている。これらの難解な三長編の読書に今から再挑戦せよと言われても困る。

若いときに比べると、読書力はいくらか向上しているとはいえ、まともな読み方をしたのでは今でも歯が立ちそうもない。松岡清剛の編集工学の方法や橋本武のスロリーディングを応用するればなんとかなるかもしれない。

編集工学の方法は、松岡清剛がポール・ヴァレリーの『テスト氏』に影響されて、主題よりも方法に着目した読書の方法だ。スロリーディングは、橋本武が国語授業の教材に中勘助『銀の匙』を選んで応用し、成果をあげている。

学問のさびしさに堪へ炭をつぐ 山口誓子